

# 令和4年度 学校評価【教職員】 桜野特別支援学校

Forms によるアンケート調査 小学部12名 中・高学部15名 事務・現業部10名 計37名

【評価値】 そう思う ・ ややそう思う ・ あまりそう思わない ・ そう思わない

項目	評価内容	評価集計
教育目標	1 児童生徒一人一人の実態に即した教育目標を設定している	<p>そう思う49% ややそう思う51%</p>
	2 教育目標の達成に向けた教育活動を行っている	<p>そう思う49% ややそう思う49% あまりそう思わない2%</p>
教育実践	3 個別の教育支援計画を活用し、保護者や関係機関等と連携を図っている	<p>そう思う59% ややそう思う32% あまりそう思わない9%</p>
	4 個別の指導計画に基づいて学習計画を立て、実践している	<p>そう思う54% ややそう思う46%</p>
	5 教育課程は児童生徒の実態等に即し、適切に編成されている	<p>そう思う41% ややそう思う54% あまりそう思わない5%</p>

○児童・生徒の目標設定や指導計画に関しては、それぞれに応じた設定がなされているように思う。また、保護者との連携に関しても、きめ細やかになされているように思う。

●もっと教材研究に取り組み授業の質を上げたい。生徒を帰した後に会議や研修が多く様々な準備が追いつかない。

●授業時数が多く、授業の準備もままならない状態にもかかわらず、放課後の会議等も多く、定時に帰宅することはほぼ不可能である。残業をしても家で仕事をすることもあるのが現状。

●生徒を帰した後に会議や研修が多く様々な準備が追いつかない。残りたい人が残れる環境にしないと去年より全体的に授業が荒削りのように見受けられる。子供たちによりよい教育を与えるために準備の時間の確保も検討してほしい。

・コロナ感染状況を見ながら教育活動を進めているところで、月1回計画されていた授業参観が10月からできるようになってきています。今後も教育目標の達成に向け、可能な限り連携を図っていきます。

・教育実践と個別の指導計画の効果的な活用をPDCAサイクルを踏まえて取り組んでいます。時間の確保、好事例の共有化や校内人材活用(OJT)など効率的に取り組みたいです。

項目	評価内容	評価集計
----	------	------

教育活動	6	児童生徒の目標や支援を明確にするために、障害の状態や程度、発達段階を的確に把握するよう努めている	<p>ややそう思う35% そう思う65%</p>
	7	学習指導要領に示す目標を踏まえ、各教科や自立活動等の指導を行っている	<p>あまりそう思わない5% ややそう思う43% そう思う51%</p>
	8	健康の保持増進や自己管理能力、体力の向上に配慮した指導を行っている	<p>ややそう思う49% そう思う51%</p>
	9	卒業後の生活に向けて、基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる	<p>あまりそう思わない5% ややそう思う57% そう思う38%</p>
	10	教材教具 (ICTを含む) を活用し、主体的に活動できる授業に取り組んでいる	<p>ややそう思う49% そう思う49%</p>
	11	各活動や学校行事のねらいを明確にし、日程や場所、内容の検討を行っている	<p>ややそう思う38% そう思う59%</p>

●障害が重度の児童生徒に対して、より実態に応じた個々の目標、内容、評価をどのように組み立て、評価していくか、これからも研究を深めていく必要があると感じている。  
○感染状況でセンター生や訪問生が登校できないとき、オンラインでつながることで授業や行事参加が普段使いでできている。

- ・児童生徒の卒業後の生活までをイメージし、卒業するまでの間にどのような力をどのようにして身に付けさせるのか、実態が重度であればどのように授業を組み立てて行けばよいのか、特別支援学校に裁量がある事項となります。
- ・学習指導要領で示された目標・内容をどう計画・実践・評価したのか「なぜ、このような授業を行っているのか」根拠を踏まえて説明できるようにしていきたいと思います。

項目	評価内容		評価集計
教育相談・キ	12	校内外の相談者のニーズに応じた教育相談や就学支援を行っている	<p>ややそう思う38% そう思う59%</p>

キャリア教育・進路指導	13	児童生徒の実態や保護者のニーズを捉え、関係機関と連携して支援にあたっている	
	14	保護者や関係機関、各学部職員と進路担当で連携し、学校全体でキャリア教育に取り組んでいる	
生徒指導	15	いじめの早期発見や児童生徒の状況把握に努めている	

- PTA研修と支援部・進路部が、福祉課や事業所の研修を実施したのはよかった。
- 今年度はいじめ対策委員会を開催し、I・II A課程の児童生徒へいじめアンケートを実施した。

- ・卒業後の視点から今の授業に生かすこと生活年齢を積み上げていくことを明確にして、学校全体で「キャリア教育」に取り組むのかも大切な要素です。
- ・児童生徒のよい人間関係の構築をめざし、次年度に向けた道徳科の授業で活用できる年間指導計画とし

項目	評価内容	評価集計	
保健安全	16	保護者や看護師、関係機関と連携し、安全安心な医療的ケアの実施に努めている	
	17	感染症対策について、職員・保護者・関係機関と連携して適切に取り組んでいる	
	18	避難訓練を実施し、児童生徒が安全な行動をとることができるよう指導している	
	19	災害時や緊急時に適切な対応ができるように、児童生徒の安全確保を意識して行動している	
環境美化	20	定期的な清掃活動等を通して、校内の環境美化に努めている	

○初めての事だらけで戸惑う事ばかり。仕事イコール個人個人の状態にあったケアをすることに戸惑いながら日々苦戦しており、まだまだ力不足ですが、遣り甲斐を感じています。

○玄関や各教室に手指消毒用のアルコールや体温計、マスク、使い捨てビニール手袋が用意されており、感染症対策を意識できた。

・毎月の校内医ケア実施委員会、緊急時シミュレーション、環境整備、学期1回の避難訓練など、非常時に臨機応変に行動できるよう教職員同士で声を掛け合うこと、日頃のコミュニケーションが大切です。

項目	評価内容	評価集計
研究・研修	21 校内研修会や事例検討会、研究授業を実施し、授業改善や教育実践に役立っている	<p>ややそう思う30%</p> <p>そう思う70%</p>
	22 教員としての資質向上、実践力向上のため、自己研鑽に努めている	<p>ややそう思う54%</p> <p>そう思う46%</p>
情報提供	23 各行事案内や学校説明会、ホームページ等を活用して、地域や関係機関に本校教育活動の情報発信を行っている	<p>あまりそう思わない6%</p> <p>ややそう思う51%</p> <p>そう思う43%</p>
	24 お便りや連絡帳、保護者面談等を通して児童生徒の様子を伝え、家庭との連携を図っている	<p>ややそう思う24%</p> <p>そう思う76%</p>
	25 個人情報やセキュリティに留意して、情報共有を行っている	<p>ややそう思う35%</p> <p>そう思う62%</p>

○学部を超えて教科の専門的なアドバイスももらえており勉強になっている。

●Teams等で児童生徒の情報を共有するとき、個人情報等に留意して情報共有していきたい。

・必要な時間の確保など校内研修と連動させ、時間の有効活用を図っていきたいと考えています。

・教職員間の情報共有ではTeamsを有効活用し、個人情報等の取扱いにも気を付けていきます。

項目	評価内容	評価集計
家庭・地	26 児童生徒の相互理解が深まるよう、交流先の担当者と連携し交流及び共同学習に取り組んでいる	<p>あまりそう思わない13%</p> <p>ややそう思う46%</p> <p>そう思う41%</p>

地域社会等との連携	27	教育活動について医教連絡会で事前の説明や相談を行い、療育医療センターとの協力体制を取っている	<p>ややそう思う22%</p> <p>そう思う76%</p>
	28	PTA研修、諸行事等を通して、PTA活動の充実・改善に努めている	<p>ややそう思う27%</p> <p>そう思う70%</p>

●交流学习等が、感染症の影響などで中止になったことが残念であった。今後も感染症対策を講じることはもちろん、オンラインの活用なども念頭に入れて実施に向けた取り組みを進めていきたい。

●学校間交流がコロナ禍の影響でしばらくお休みになっているため、本校児童の実態や地域の実情をふまえて、計画的に取り組んでいきたいと感じている。

○センター生が登校できるようになってよかった。

○今年度、九肢研においてPTAが発表当番となっていたが、担当職員、PTA会長さんのおかげで本校のPTA実践を紹介する素晴らしい発表報告をすることができた

・地域に開かれた学校づくりの推進、交流及び共同学習の推進など、学校評価を踏まえた教育活動等の改善を図ります。

項目	評価内容	評価集計	
学校運営	29	校長の経営方針を共有し、教育目標の達成に向けて取り組んでいる	<p>ややそう思う32%</p> <p>そう思う68%</p>
	30	校務の推進にあたって、各学部主事や分掌主任を中心に組織的に取り組んでいる	<p>あまりそう思わない5%</p> <p>ややそう思う30%</p> <p>そう思う65%</p>
	31	安心・安全な学校給食が提供されている	<p>ややそう思う8%</p> <p>そう思う89%</p>
	32	スクールバスの安全運行のため、保護者や運転手・介助員、教職員間での連携を図っている	<p>ややそう思う11%</p> <p>そう思う86%</p>
	33	提出文書等の作成・整理・保管等、事務と連携しながら適切に処理している	<p>ややそう思う41%</p> <p>そう思う59%</p>

その他	34	教材費やPTA会費等、私費会計の処理を適切に行っている	<p>ややそう思う27%</p> <p>そう思う70%</p>
	35	定期点検後の修繕や施設・設備の充実を図り、よりよい教育環境づくりに努めている	<p>ややそう思う30%</p> <p>そう思う68%</p>
	36	教材教具・備品等の整理・保管等を適切に行っている	<p>あまりそう思わない8%</p> <p>ややそう思う51%</p> <p>そう思う41%</p>
	37	定時退勤を意識し、タイムマネジメントに取り組めるよう業務の見直しを図っている	<p>あまりそう思わない11%</p> <p>ややそう思う46%</p> <p>そう思う43%</p>
	38	指導上での課題やその他の悩みについて、職員同士が相談し合える雰囲気の職場になっている	<p>あまりそう思わない2%</p> <p>ややそう思う36%</p> <p>そう思う60%</p> <p>そう思わない2%</p>

○管理者や中高等部では、話がしやすい雰囲気があるので困ったことや悩み事もタイムリーに報連相ができていたのではないかと思います。

○本校は小規模校で大規模校に比べ、兼務しないといけな業務もあり、忙しさを感じる部分もあるが、学校運営、行事等、全職員で連携し対応できていると思う。

○毎日、楽しく安心して職務につけている。

●県からの図書予算が一桁の額で、他校に比べても、少なすぎる状況である。予算配分を学校割り当て＋生徒割りの計算方法で配分するよう要望してほしい

●会議を減らす、一人一人の業務量を工夫する等、タイムマネジメントについて全員が心がけることが必要だと思う。

●特にPCや端末関連の備品等について、各自保管は気を付けたい。

●自立活動教材の管理保管に課題があると思う。教材の一式がそろっているか確認が必要。今後は購入した教材の箱に戻して箱ごと保管するなどの工夫が必要。

●備品の件、他部署から借りた物品は、使用后すぐ必ず元の場所に返すことを全職員で徹底してほしい。

●定時退勤できないくらいの業務が常にあるので、意識して帰っても家に持ち帰りしないといけなないので、正直厳しい。

●職員が抱えている校務や授業改善等の取り組みは、お互いの仕事の進め方を共有したり、チームで検証したりする場を設定していくことで、個々の負担感や孤立感を軽減できると思う。一気に全ての課題を解消することは難しいが、まずはお互いの困り感を気軽に集約できる場が欲しいなと考えています。

●業務量が多く、団らんするゆとりがない。

・教職員一人一人が、充実した教職生活を送るためにワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい勤務環境を整えていきたいと考えています。

・沖縄県教職員働き方改革推進プランの「定時退勤日の設定」に伴い、毎週水曜日を定時退勤日と設定しています。緊急の業務が無い限り、全職員の定時退勤を励行します。